

平成14年度 国土交通省国土技術研究会 自由課題（アカウンタビリティ部門） の開催について

国土交通省大臣官房技術調査課

コスト縮減係長 ふくい たかのり 福井 貴規



はじめに

平成15年3月12日、全国町村会館（東京都千代田区）において、「平成14年度国土交通省国土技術研究会自由課題（アカウンタビリティ部門）」が開催されました。

国土交通省国土技術研究会（以下、国土技術研究会）は、国土交通省所管の住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的にまたは緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、国土交通省が所管する国土整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的とするものであり、内務省直轄技術研究会として昭和22年に発足し、以後毎年1回開催しているものです。

平成14年度の国土技術研究会は、平成14年11月にすでに開催しておりましたが、地方整備局における具体的なアカウンタビリティに関する取り組みについて、その目的、実施内容、効果、課題等を取りまとめ、研究成果を発表するとともに優秀論文を表彰することにより、職員の技術と取組意欲の一層の向上を図ることを目的として、今回、自由課題に「アカウンタビリティ部門」を新設

し、開催したものです。

本稿ではその概要について紹介します。



概 要

国土技術研究会は、①指定課題、②自由課題（「一般部門」、「新技術活用部門」）、③ポスターセッションから構成され、例年秋頃に開催されてきました。

「アカウンタビリティ部門」は、すでに開催していた平成14年度の国土技術研究会を後追いする形で自由課題に新設され、特別に開催したことから、今回は参加範囲を限定し、発表者を国土交通省の職員、および、沖縄総合事務局の職員として開催しました。論文の内容については、①「公共事業の各実施段階を、国民に対してさらに説明性の高いものへと改善を図ること」、②「同時に幅広く分かりやすい情報を積極的に国民に提供していくこと」の実現に向けた取り組みのうち、特に、国民に対して直接働きかける取り組み事例について募集を行い、北海道開発局、各地方整備局より2課題ずつ、国土技術政策総合研究所より1課題、沖縄総合事務局より1課題の計20課題について発表が行われました。

会場には、発表者、聴講者を含め、全体で約150名が参加し、日頃培われた知識と経験を活か

平成14年度国土交通省国土技術研究会 自由課題（アカウンタビリティ部門）プログラム

所属は平成15年3月12日時点のもの

9:30~	受付開始	
10:00~10:10	開会式	
時 間	発表会場 A	発表会場 B
10:20~10:45 自由課題①	No.1 これでどうずら？天竜川 ～地域住民と一体となった計画づくり～ 中部地方整備局 天竜川上流工事事務所調査課 専門調査員 真鍋 尚司	No.1 首都圏外郭放水路における広報活動 関東地方整備局 江戸川工事事務所放水路課 工事係 志賀 久枝
10:45~11:10 自由課題②	No.2 公共事業に対する態度形成メカニズムと合意形成の改善 国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター 建設マネジメント技術研究室長 山口 真司	No.2 地域の意向に沿った国道23号環境対策の進め方について 中部地方整備局 名古屋国道工事事務所工務課 専門調査員 小塚 順司
11:10~11:35 自由課題③	No.3 北上川学習交流館（あいぼーと）の運営について ～公設市民館による新しい試み～ 東北地方整備局 岩手工事事務所工務第三課 工務係 岸本 愛香	No.3 加古川バイパス「お母さんと考える交差点改良勉強会」について の中間報告 近畿地方整備局 姫路工事事務所調査第一課 計画第二係長 石橋 博孝
11:35~12:00 自由課題④	No.4 連携排砂に関する地域合意までのスキーム 北陸地方整備局 黒部工事事務所土砂管理課 調査係長 田澤 信行	No.4 市民連携港湾の実現に向けて ～小名浜みなとまち大学の取り組み～ 東北地方整備局 小名浜港湾工事事務所 港湾振興課長 佐藤 和敏
12:00~13:10	昼 食	
13:10~13:35 自由課題⑤	No.5 長崎工事事務所管内における児童及び保護者による通学路点検 について 九州地方整備局 長崎工事事務所佐世保国道維持出張所 管理係長 中津留 友之	No.5 豊平川におけるアカウンタビリティ向上の取り組みについて ～新しい住民・市民参加（ホロヒラみどり会議）のかたち～ 北海道開発局 石狩川開発建設部 札幌河川事務所計画課 計画係長 仙石 雅之
13:35~14:00 自由課題⑥	No.6 滋賀国道管内におけるアカウンタビリティ向上の取り組みにつ いて 近畿地方整備局 滋賀国道工事事務所工事施工管理官 塚本 富美雄	No.6 大保ダム関連工事におけるリスクマネジメントの試行について （中間報告） 沖縄総合事務局 北部ダム事務所調査設計第二課 調査係長 伊佐 真幸
14:00~14:25 自由課題⑦	No.7 「なるほど！体験教室」 関東地方整備局 関東技術事務所技術情報課 計画係長 大野 智弘	No.7 志津見ダム湖周辺住民の新しい挑戦 ～住民参加型合意形成手法について～ 中国地方整備局 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 調査設計第一課 設計係 中脇 大
14:25~14:35	休 憩	
14:35~15:00 自由課題⑧	No.8 地域防災パートナーシップの取り組みについて 北海道開発局 小樽開発建設部工務課 交通対策専門官 鈴木 達己	No.8 富山県内工事事務所における「戦略的広報アクションプラン」 の実践と効果 北陸地方整備局 富山工事事務所調査第一課 調査第一係長 石川 俊之
15:00~15:25 自由課題⑨	No.9 那賀川流域における河川整備計画策定に向けた取り組みにつ いて 四国地方整備局 那賀川工事事務所調査課 洪水予報係長 原田 隆史	No.9 加勢川における歴史と文化に調和した住民参加の川づくり計画 九州地方整備局 熊本工事事務所調査第一課 洪水予報係 大山 直紀
15:25~15:50 自由課題⑩	No.10 女性を対象にしたコミュニケーション活動 中国地方整備局 企画部 建設専門官 上橋 昇	No.10 「道の駅」による地域活性化計画について ～PI方式による地域活性化拠点づくり～ 四国地方整備局 徳島工事事務所調査第二課 道路調査係長 田中 元幸
16:15~17:00	特別講演 「公共事業のアカウンタビリティと現場での住民・メディア対応の心得」森野 美徳氏（ジャーナリスト）	
17:10~17:30	表彰，閉会式	



関東地方整備局関東技術事務所 大野さんの発表



した研究成果について発表が行われ、活発な質疑応答が交わされるなど盛大に行われました。

各発表論文については、国土交通省職員と外部有識者からなる審査委員会により、問題認識、着眼点、倫理性、有効性、表現力等の観点から厳正な審査が行われ、優秀論文5課題が選出されました。

また、発表終了後には、ジャーナリストの森野美徳氏より「公共事業のアカウンタビリティと現場での住民・メディア対応の心得」と題した特別講演が行われ、公共事業をとりまく問題、課題に対し、技術者として、アカウンタビリティ向上に向けて日々心がけるべき心得について、たくさんの貴重な提言をいただきました。



おわりに

今回の国土技術研究会自由課題（アカウンタビリティ部門）の開催は、地方整備局等において、各事業の理解を得るために大変な努力をもって取

り組まれている事例や成果、課題等の情報がここで共有化され、アカウンタビリティ向上に向けたさらなる取り組みへとつながる大変貴重な機会になったと考えております。

国土交通省においては、国民の理解を得ながら効率的かつ効果的な公共事業を実施するため、従来のアカウンタビリティ向上の取り組みに加え、平成13年度から約1年半にわたり、「公共事業のアカウンタビリティを考える懇談会」を開催し、有識者の方々から現状への批判ならびに充実・改善策や今後の方向性等についてさまざまな提言をいただいたところです。また、平成15年度から実施しているコストの観点から公共事業のすべてのプロセスを見直す「コスト構造改革」において、合意形成手法の改善等が検討されているところです。

これらの状況を踏まえ、今後も引き続き、公共事業のアカウンタビリティ向上に向けたさらなる取り組みや、熱意と工夫に満ちた新たなアカウンタビリティ向上手法の開発に向けた取り組みを推進していきたいと考えております。

平成15年度の国土技術研究会は、自由課題（アカウンタビリティ部門）も含め、11月に開催される予定です。



優秀課題発表者記念撮影

平成14年度国土交通省国土技術研究会 自由課題（アカウンタビリティ部門） 優秀論文受賞者一覧

所属は平成15年3月12日時点のもの

	課題名	所属	氏名
1	北上川学習交流館（あいぼーと）の運営について ～公設市民営による新しい試み～	東北地方整備局岩手工事事務所工務第三課工務係	岸本 愛香
2	「なるほど！体験教室」	関東地方整備局関東技術事務所技術情報課計画係長	大野 智弘
3	首都圏外郭放水路における広報活動	関東地方整備局江戸川工事事務所放水路課工事係	志賀 久枝
4	豊平川におけるアカウンタビリティ向上の取組について ～新しい住民・市民参加（ホロヒラみどり会議）のかたち～	北海道開発局石狩川開発建設部札幌河川事務所計画課計画係長	仙石 雅之
5	富山県内工事事務所における「戦略的広報アクションプラン」の実践と効果	北陸地方整備局富山工事事務所調査第一課調査第一課長	石川 俊之